

学 年

5 年

単位量あたりの大きさ (3) ①

年 組 氏名

- 1 あおいさんは、わくわく広場とふれあい牧場にあるそれぞれのうさぎ小屋の面積とうさぎの数から、どちらのほうがかんんでいるかを調べようとしていました。式を立てて計算はしたのですが、やっているうちによく分からなくなってきました。

小屋の面積とうさぎの数

	面積 (m^2)	数 (ひき)
わくわく 広場	27	18
ふれあい 牧場	24	15

あおいさんがどこで困っているのかをとらえ、どのように考えたらよいのか、下の□から言葉や文を抜き出し、あおいさんがわかるように説明を完成させましょう。

あおいさんの式と答え

わくわく広場・・・(式) $27 \div 18 = 1.5$

ふれあい牧場・・・(式) $24 \div 15 = 1.6$

(答え) 1.5 と 1.6 だから、ふれあい牧場のほうがかんんでいる？

あれ？わからなくなってきたぞ！



あなたの説明

あおいさんは、自分で求めたものが何かが分からなくなっている。

あおいさんの式だと、□ で比べたことになるので、

わくわく広場の 1.5 の意味は、□

ふれあい牧場の 1.6 の意味は、□ となる。

この比べ方は、かんんでいるほど数が □。

だから、□ の方が、かんんでいるとわかる。

1 m^2 あたりのうさぎの数 ・ 1 ひきあたりの面積 ・ 1 m^2 あたり 1.5 ひき
 1 ひきあたり 1.5 m^2 ・ 1 m^2 あたり 1.6 ひき ・ 1 ひきあたり 1.6 m^2
 大きい ・ 小さい ・ わくわく広場 ・ ふれあい牧場

学 年	<h2 style="margin: 0;">単位量あたりの大きさ (3) ①</h2>
5 年	

年 組 氏名

1 あおいさんは、わくわく広場とふれあい牧場にあるそれぞれのうさぎ小屋の面積とうさぎの数から、どちらのほうがかんでいるかを調べようと思いました。式を立てて計算はしたのですが、やっているうちによく分からなくなってきました。

小屋の面積とうさぎの数


	面積 (㎡)	数 (ひき)
わくわく 広場	27	18
ふれあい 牧場	24	15

あおいさんがどこで困っているのかをとらえ、どのように考えたらよいのか、下の□から言葉や文を抜き出し、あおいさんがわかるように説明を完成させましょう。

あおいさんの式と答え

わくわく広場・・・(式) $27 \div 18 = 1.5$
 ふれあい牧場・・・(式) $24 \div 15 = 1.6$
 (答え) 1.5 と 1.6 だから、ふれあい牧場のほうがかんでいる？

あれ？わからなくなってきたぞ！



あなたの説明

あおいさんは、自分で求めたものが何かが分からなくなっている。

あおいさんの式だと 1 ひきあたりの面積 で比べたことになるので、

わくわく広場の 1.5 の意味は、1 ひきあたり 1.5 ㎡

ふれあい牧場の 1.6 の意味は、1 ひきあたり 1.6 ㎡ となる。

この比べ方は、かんでいるほど数が 小さい 。

だから、わくわく広場 の方が、かんでいるとわかる。

1 ㎡あたりのうさぎの数 ・ 1 ひきあたりの面積 ・ 1 ㎡あたり 1.5 ひき
 1 ひきあたり 1.5 ㎡ ・ 1 ㎡あたり 1.6 ひき ・ 1 ひきあたり 1.6 ㎡
 大きい ・ 小さい ・ わくわく広場 ・ ふれあい牧場

学 年

5 年

単位量あたりの大きさ (3) ②

年 組 氏名

- 1 A社とB社はそれぞれコンビニエンスストアで売っているおにぎりを作る機械を開発している会社です。改良を重ね、A社の機械は1時間に2940こ、B社の機械は5分間に250こ作ることができるようになりました。

りくとさんとゆりなさんは、次のような式を立てて2つの会社の機械のおにぎりを作る速さを比べました。なぜB社の機械の方が速いとわかったのか、それぞれの式の意味を書き、考え方を説明しましょう。(下のキーワードをさんこうにしましょう。)

～りくとさん～

A社・・・(式) $2940 \div 60 = 49$

B社・・・(式) $250 \div 5 = 50$

(B社の機械の方が速い。)

りくとさんの考え方

～ゆりなさん～

A社・・・(式) $60 \div 2940 = 0.0204\dots$

B社・・・(式) $5 \div 250 = 0.02$

(B社の機械の方が速い。)

ゆりなさんの考え方

キーワード

作るおにぎり1こあたり ・ 1分間あたり

A社 ・ B社

何分かかかるか ・ 何こ作れるか

学 年

5 年

単位量あたりの大きさ (3) ②

年 組 氏名

- 1 A社とB社はそれぞれコンビニエンスストアで売っているおにぎりを作る機械を開発している会社です。改良を重ね、A社の機械は1時間に2940こ、B社の機械は5分間に250こ作ることができるようになりました。

りくとさんとゆりなさんは、次のような式を立てて2つの会社の機械のおにぎりを作る速さを比べました。なぜB社の機械の方が速いとわかったのか、それぞれの式の意味を書き、考え方を説明しましょう。(下のキーワードをさんこうにしましょう。)

～りくとさん～

A社・・・(式) $2940 \div 60 = 49$

B社・・・(式) $250 \div 5 = 50$ (B社の機械の方が速い。)

りくとさんの考え方

それぞれの機械が1分間あたりに何こおにぎりが作れるかの式をたてました。

そうすると、A社は1分間に49こ B社は1分間に50こ作れると分かりました。同じ時間に作れる数がB社の方が多いので、B社の機械の方が速いと分かりました。

～ゆりなさん～

A社・・・(式) $60 \div 2940 = 0.0204\dots$

B社・・・(式) $5 \div 250 = 0.02$ (B社の機械の方が速い。)

ゆりなさんの考え方

作るおにぎり1こあたりに何分かかかるかの式をたてました。

そうすると、A社は1こあたり約0.0204...分、B社は1こあたり0.02分、時間がかかると分かりました。作るおにぎり1こあたりにかかる時間がB社の方が短いから、B社のほうが速いと分かりました。

キーワード

作るおにぎり1こあたり ・ 1分間あたり
A社 ・ B社
何分かかかるか ・ 何こ作れるか